

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	Y I C 京都ビューティ専門学校
設置者名	学校法人京都中央学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	18 単位	6 単位	
	ビューティスペシャリスト科	夜・通信	39 単位	6 単位	
商業実務専門課程	ブライダル科	夜・通信	20 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上にて公表 WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/39c59edf3b7f56001b2c5e2a8b9f57cc.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	Y I C京都ビューティ専門学校
設置者名	学校法人京都中央学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表

WEB アドレス : <https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/903b45f851055a8426ba7f1d8735912e.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役	平成 31 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	経営方針や教育方針に 対する意見・助言等
非常勤	株式会社 代表取締役	平成 31 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	経営方針や教育方針に 対する意見・助言等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	Y I C 京都ビューティ専門学校
設置者名	学校法人京都中央学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

	<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
	<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。 〈教育課程編成・実施の方針〉 カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考えを示したものです。 〈カリキュラム・ポリシー〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビューティ業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。 2. 主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるよう、プログラムを提供する。 3. キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。 4. 授業全般、学校行事を通しコミュニケーション能力、豊かな人間性を養成する。 <p>また、教育課程の策定に当たり、学校法人京都中央学院は、設置する各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置き、年2回以上委員会を開催し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項、各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項、教科書・教材の選定に関する事項などを審議・報告する。 〈シラバスの作成と公表について〉 各学科の教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定 公表：新年度開講にあわせてHP等に掲載および教育課程の一覧の配布</p>
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ上にて公表（教育課程・シラバス） WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/disclosure/ ホームページ上にて公表</p> <p>美容科 シラバス WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/fd5c09308b9e2227a51a0468e2962df6.pdf</p> <p>ビューティスペシャリスト科 シラバス WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/8a694427e71150d755b9ab7014fcb09a.pdf</p> <p>ブライダル科 シラバス WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/eceb214de2cbc5743cc8c557a7d4fdcc.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。

(単位の修得)

科目の単位の認定は、成績評価が60点であることが必要です。履修には授業の総てに出席することが前提となりますが、80%以上の授業出席がなければ、成績評価はなされず、単位は認定されません。逆に、授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身についていない」と判定されれば、成績評価は不可となり、単位は認定されません。

(成績評価とGPA制度)

(1) 成績の評価基準

履修した科目の成績評価は原則として試験により行います。それ以外にレポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合格、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって評価を行う場合があります。各科目の評価方法についてはシラバスに記載します。総合評価の基準は別表に定める。ただし、授業時数の出席率が80%未満の者、あるいは学費及び教材費等未納者については評価点の如何にかかわらず成績評価は行いません。

評価点	評価	可否	合格
100点 ~ 90点	秀 (S)		合格
89点 ~ 80点	優 (A)		合格
79点 ~ 70点	良 (B)		合格
69点 ~ 60点	可 (C)		合格
59点以下	不可 (D)		不合格
試験を受験していない			
授業時数の出席率が80%未満の者	なし		不合格
学費及び教材費等未納者	しない		保留

と記載している。

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートや適宜個人面談等を実施。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。

(成績評価とGPA制度)

(2) GPA制度の概要

本学では、学生の自律的な学修の促進および学生に対する学修指導等に活用することを目的として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入します。各学生の履修科目の成績評価をグレード・ポイント (GP) に変換し、GPに当該科目の単位数を乗じて、その総和を履修総単位数で除した値をGPAとします。なお、GPAに算入する科目は「すべての科目」(ただし、インターンシップを除く。)とします。

(3) 成績評価とGPの対応

成績評価は下表に基づきGPに変換します。

評価	秀 (S)	優 (A)	良 (B)	可 (C)	不可 (D)	なし	しない
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0

(4) GPAの種別

本学在学中の全期間における学修の成果を示す指標として「累積GPA」を、当該学期における学修成果を示す指標として「学期GPA」を算出します。(GPAは小数点第二位まで表示。小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入します。)

<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。 WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/bc6106aa5f9aa7bd38dfcee37dd89a37.pdf ※学生便覧 P.10「学習の手引き」 8.成績評価とGPA制度の概要を参照</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー (称号授与の方針) 本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に高度専門士又は専門士の称号を付与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビューティ業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること。 2. 自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること。 3. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。 4. 豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。 <p>美容科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の要件：必修科目 53 単位 (1,590 時間) 及び選択科目 15 単位 (450 時間) 以上 計 68 単位 (2,040 時間) 以上の履修 ・科目履修 (単位) 認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上 <p>ビューティスペシャリスト科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の要件：必修科目 23 単位 (690 時間) 及び選択必須科目と選択科目合わせて 37 単位 (1110 時間) 以上、計 60 単位 (1800 時間) 以上の履修 <p>卒業要件資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通：JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 アロマセラピー検定2級 ・共通エステティック分野選択者：国際エステティック連盟 (INF A) ボディパスポート試験 ・メイクアップアドバイザー分野選択者：JMA日本メイクアップ技術検定2級 メイクセラピー検定3級 ・ネイリスト分野選択者：JMA日本ネイリスト検定2級 JNAジェルネイル検定初級 <p>ブライダル科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の要件：必須科目 60 単位 (1800) の履修 ・科目履修 (単位) 認定の要件：80%以上の出席および期末試験 60点以上 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。 WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/bc6106aa5f9aa7bd38dfcee37dd89a37.pdf ※学生便覧 P.3「学習の手引き」 3.ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) P.7「学習の手引き」1. 教育課程編成・実施の方針 別表2 教育課程</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	Y I C 京都ビューティ専門学校
設置者名	学校法人京都中央学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/37121c8e8628bd5c0f2424c4d3be5312.pdf ※事業報告 P.7 貸借対照表
収支計算書又は損益計算書	WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/37121c8e8628bd5c0f2424c4d3be5312.pdf ※P.1～4 資金収支計算書、P.5～6 事業活動収支計算書
財産目録	WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/963a10dd89185229233bd252ddee4b1b.pdf
事業報告書	WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/657fc45a10ea4cbafe524eb8c2d139b5.pdf
監事による監査報告（書）	WEB アドレス : https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/160a907a679b7be6dbcbcd067eea03d6.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	68 単位時間/単位	25 単位時間/単位		60 単位時間/単位		
			85 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		148人	人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。 〈教育課程編成・実施の方針〉 カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考えを示したものです。本校では、カリキュラム・ポリシーに基づき以下の通り定めています。 1. ビューティ業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。 2. 主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるよう、プログラムを提供する。 3. キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。
--

4. 授業全般、学校行事を通しコミュニケーション能力、豊かな人間性を養成する。

〈シラバスの作成と公表について〉
各学科ごとの教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定
公表：新年度開講にあわせてHP等に掲載および教育課程の一覧の配布

成績評価の基準・方法

(概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。

〈単位の修得〉

科目の単位の認定は、成績評価が60点であることが必要です。履修には授業の総てに出席することが前提となりますが、80%以上の授業出席がなければ、成績評価はなされず、単位は認定されません。逆に、授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身につけていない」と判定されれば、成績評価は不可となり、単位は認定されません。

〈成績評価とGPA制度〉

(1) 成績の評価基準

履修した科目の成績評価は原則として試験により行います。それ以外にレポート作成、作品

作成、実技テスト、資格試験合格、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって評価を行う場合があります。各科目の評価方法についてはシラバスに記載します。総合評価の基準は別表に定める。ただし、授業時数の出席率が80%未満の者、あるいは学費及び教材費等未納者については評価点の如何にかかわらず成績評価は行いません。

評価点	評価	可否
100点 ~ 90点	秀 (S)	合格
89点 ~ 80点	優 (A)	合格
79点 ~ 70点	良 (B)	合格
69点 ~ 60点	可 (C)	合格
59点以下	不可 (D)	不合格

試験を受験していない

授業時数の出席率が80%未満の者 なし 不合格

学費及び教材費等未納者 しない 保留
と記載している。

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートや適宜個人面談等を実施。

卒業・進級の認定基準

(概要)

ディプロマ・ポリシー (称号授与の方針)

本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に高度専門士又は専門士の称号を付与します。

1. ビューティ業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること。
2. 自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること。
3. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。
4. 豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。

美容科

・卒業の要件：必修科目 53 単位 (1,590 時間) 及び選択科目 15 単位 (450 時間) 以上 計 68 単位 (2,040 時間) 以上の履修

・科目履修 (単位) 認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

学修支援等

<p>(概要)</p> <p>学費支援：特待奨学生制度、社会人キャリア応援制度、入試出願区分特典による減免制度</p> <p>2021 年度学生募集要項参考 WEB アドレス：https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2016/10/yoko_kyoto2021.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43 人 (100%)	0 人 (%)	41 人 (95.4%)	2 人 (4.7%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>株式会社リー(Lee)、なでしこ美容室 株式会社、有限会社 レガロ、株式会社 anuenue、株式会社 navel、OSHARE DOROBO(オシャレドロボウ)、有限会社エイト(hairs BEAU)、Jour /SUNROAD ジュール/サンロード、株式会社ガネイシャ、アーヌエヌン(Anu Nu)、株式会社リラ、futur(フチュール)、ローグ(LOGUE)、株式会社アレンジ(アレンジ美容室)、Rulyru(ルーリールー)、株式会社 Luxtz(ヘアメイクラグズ)、株式会社 ブランリス、株式会社 BEMYOO(OSAYA)、haku、パラボンヘア、if</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。学生の皆さんが、最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナー、個別面談、個別面接指導などの実施。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>美容師国家資格、JMA 日本メイクアップ技術検定試験 3 級、JNEC ネイリスト技能検定試験 3 級、資生堂ヘッドスパディプロマ、日本パーソナルカラリスト協会パーソナルカラリスト検定 3・2 級、一般社団法人 日本ヘアケアマイスター協会 ヘアケアマイスター(プライマリーコース)ディプロマ、NPO 法人 日本ヘアカラー協会 JHCA ヘアカラリスト検定 シングルスター、NPO 法人 日本ビューティ・コーディネーター協会ビューティコーディネーター2 級</p> <p>〈専攻で取得〉</p> <p>NPO 法人 日本ヘアカラー協会 JHCA ヘアカラリスト検定 ダブルスター(※ヘアデザイン専攻)、JMA 日本メイクアップ技術検定試験 2 級(※メイクブライダル専攻)、新井会ジュニアセットリストディプロマ(※メイクブライダル専攻)</p> <p>美容師国家資格：受験人数 43 人/合格人数 35 名(81.4%)</p> <p>JHCA ヘアカラリスト検定 シングルスター：受験人数 43 人/合格人数 43 名(100%)</p> <p>日本ヘアケアマイスター協会 ヘアケアマイスター：受験人数 34 人/合格人数 15 名(44.1%)</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116 人	5 人	4.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更就職の為、学習意欲の低下、学費未納金銭的な問題</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。hyper-QUアンケートの実施・分析による学生面談の実施。スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		衛生 専門課程	ビューティスペシャリス ト科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	60 単位時間/単位	19 単位時間 /単位	単位時間 /単位	119 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			138 単位時間/単位			単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		75人	人	3人	7人	10人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																
<p>（概要）</p> <p>新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。</p> <p>〈教育課程編成・実施の方針〉</p> <p>カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考えを示したものです。本校では、カリキュラム・ポリシーに基づき以下の通り定めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビューティ業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。 2. 主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるよう、プログラムを提供する。 3. キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。 4. 授業全般、学校行事を通しコミュニケーション能力、豊かな人間性を養成する。 <p>〈シラバスの作成と公表について〉</p> <p>各学科ごとの教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定</p>																
成績評価の基準・方法																
<p>（概要）</p> <p>新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。</p> <p>〈単位の修得〉</p> <p>科目の単位の認定は、成績評価が60点であることが必要です。履修には授業の総てに出席することが前提となりますが、80%以上の授業出席がなければ、成績評価はなされず、単位は認定されません。逆に、授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身につけていない」と判定されれば、成績評価は不可となり、単位は認定されません。</p> <p>〈成績評価とGPA制度〉</p> <p>（1）成績の評価基準</p> <p>履修した科目の成績評価は原則として試験により行います。それ以外にレポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合格、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって評価を行う場合があります。各科目の評価方法についてはシラバスに記載します。総合評価の基準は別表に定める。ただし、授業時数の出席率が80%未満の者、あるいは学費及び教材費等未納者については評価点の如何にかかわらず成績評価は行いません。</p> <table border="0"> <tr> <td>評価点</td> <td>評価</td> <td>可否</td> </tr> <tr> <td>100点 ~ 90点</td> <td>秀 (S)</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>89点 ~ 80点</td> <td>優 (A)</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>79点 ~ 70点</td> <td>良 (B)</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>69点 ~ 60点</td> <td>可 (C)</td> <td>合格</td> </tr> </table>		評価点	評価	可否	100点 ~ 90点	秀 (S)	合格	89点 ~ 80点	優 (A)	合格	79点 ~ 70点	良 (B)	合格	69点 ~ 60点	可 (C)	合格
評価点	評価	可否														
100点 ~ 90点	秀 (S)	合格														
89点 ~ 80点	優 (A)	合格														
79点 ~ 70点	良 (B)	合格														
69点 ~ 60点	可 (C)	合格														

59点以下 試験を受験していない 授業時数の出席率が 80%未満の者 学費及び教材費等未納者 と記載している。	不可 (D)	不合格
	なし	不合格
	しない	保留

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートや適宜個人面談等を実施。

卒業・進級の認定基準 (概要) ディプロマ・ポリシー (称号授与の方針) 本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に高度専門士又は専門士の称号を付与します。 1. ビューティ業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること。 2. 自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること。 3. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。 4. 豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。 ビューティスペシャリスト科 ・卒業の要件：必修科目23単位(690時間)及び選択必須科目と選択科目合わせて37単位(1110時間)以上、計60単位(1800時間)以上の履修 卒業要件資格 ・共通：JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 アロマセラピー検定2級 ・エステティック分野選択者：国際エステティック連盟(INFA)ボディパスポート試験 ・メイクアップアドバイザー分野選択者：JMA日本メイクアップ技術検定2級 メイクセラピー検定3級 ・ネイリスト分野選択者：JMA日本ネイリスト検定2級 JNAジェルネイル検定初級
学修支援等 (概要) 学費支援：特待奨学生制度、社会人キャリア応援制度、入試出願区分特典による減免制度 2021年度学生募集要項参考 WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2016/10/yoko_kyoto2021.pdf

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (%)	16人 (80.0%)	4人 (20.0%)
(主な就職、業界等) TBCグループ株式会社、株式会社 ライフビューティ(ネイルバー)、株式会社フリーゾーン、株式会社不二ビューティ(たかの友梨ビューティクリニック)、株式会社エイチ・ツーオー、株式会社エキップ(RMK)、株式会社 uit(Hair&Nail salon uit)、株式会社 Luna、株式会社錦(チャペルグリーンベル北白川)、株式会社ネイルズ(ネイルキューブ)、株式会社アルテマ、株式会社ボディワークホールディングス、株式会社ザ・フォウルビ(ジェイエステティック)			
(就職指導内容) キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。学生の皆さんが、最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナーを行っています。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国際エステティック連盟 INFA ボディパスポート試験およびフェイシャル試験、一般社団法人 JMA 日本メイクアップ技術検定試験1級・2級・3級、一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセ			

<p>ラピー検定1級・2級・3級、公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター ネイリスト技能検定1級・2級・3級、NPO 法人日本ネイリスト協会 JNA ジェルネイル技能検定試験上級・中級・下級、一般社団法人日本カラリスト協会パーソナルカラリスト検定3級</p> <p>一般社団法人 JMA 日本メイクアップ技術検定試験1級：受験人数2人/合格人数2人（100%） 一般社団法人 JMA 日本メイクアップ技術検定試験2級：受験人数37人/合格人数34人（91.9%） 国際エステティック連盟 INFA フェイシャル試験：受験人数8人/合格人数8人（100%） 国際エステティック連盟 INFA ボディパスポート試験：受験人数8人/合格人数8人（100%） JNEC ネイリスト技能検定1級：受験人数7人/合格人数7人（100%） INFC ネイリスト技能検定2級：受験人数4人/合格人数4人（100%） 一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセラピー検定3級：受験人数19人/合格人数19人（100%）</p>
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	3人	4.8%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、体調不良、進路変更大学進学、金銭的な問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。hyper-QUアンケートの実施・分析による学生面談の実施。スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ブライダル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	60 単位時間/単位	29 単位時間 /単位	単位時間 /単位	34 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			63 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		29人	人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。
〈教育課程編成・実施の方針〉
カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考えを示したものです。本校では、カリキュラム・ポリシーに基づき以下の通り定めています。

1. ビューティ業界の専門職として必要な知識と技術及び技能を身に付けるため、必要な科目及びインターンシップを提供する。
2. 主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、社会人として求められる豊かな人間性を養成できるよう、プログラムを提供する。
3. キャリア教育を通して、社会人基礎力と社会における使命感を育成するプログラムを提供する。
4. 授業全般、学校行事を通しコミュニケーション能力、豊かな人間性を養成する。

〈シラバスの作成と公表について〉

各学科ごとの教育課程に沿った科目ごとのシラバスの作成：2月末に決定

成績評価の基準・方法

(概要)

新入生に対し、入学時に配布する学生便覧の学習の手引きに記載。

〈単位の修得〉

科目の単位の認定は、成績評価が60点であることが必要です。履修には授業の総てに出席することが前提となりますが、80%以上の授業出席がなければ、成績評価はなされず、単位は認定されません。逆に、授業に全部出席していたとしても、「学ぶべき内容が身につけていない」と判定されれば、成績評価は不可となり、単位は認定されません。

〈成績評価とGPA制度〉

(1) 成績の評価基準

履修した科目の成績評価は原則として試験により行います。それ以外にレポート作成、作品作成、実技テスト、資格試験合格、日常の学習態度など担当教員の指定する方法によって評価を行う場合があります。各科目の評価方法についてはシラバスに記載します。総合評価の基準は別表に定める。ただし、授業時数の出席率が80%未満の者、あるいは学費及び教材費等未納者については評価点の如何にかかわらず成績評価は行いません。

評価点	評価	合否
100点 ~ 90点	秀 (S)	合格
89点 ~ 80点	優 (A)	合格
79点 ~ 70点	良 (B)	合格
69点 ~ 60点	可 (C)	合格
59点以下	不可 (D)	不合格

試験を受験していない

授業時数の出席率が

80%未満の者 なし 不合格

学費及び教材費等未納者 しない 保留

と記載している。

また、学習意欲の把握の為、授業アンケートや適宜個人面談等を実施。

卒業・進級の認定基準

(概要)

ディプロマ・ポリシー (称号授与の方針)

本校の教育理念、教育目標や求める人材像に則り、所定の教育課程を修了し、次の項目を身に付けた学生に高度専門士又は専門士の称号を付与します。

1. ビューティ業界の専門職として、必要な知識・技能・態度を身に付けていること。
2. 自ら学び続ける能力とニーズに柔軟に対応できる能力を有していること。
3. 必要なコミュニケーション能力を有し、他の職種と協働できる能力を有していること。
4. 豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。

ブライダル科

・卒業の要件：必須科目 60 単位 (1800) の履修

・科目履修 (単位) 認定の要件：80%以上の出席および期末試験 60 点以上

学修支援等 (概要) 学費支援：特待奨学生制度、社会人キャリア応援制度、入試出願区分特典による減免制度 2021年度学生募集要項参考 WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2016/10/yoko_kyoto2021.pdf

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (%)	11人 (61.1%)	7人 (38.9%)
(主な就職、業界等) 株式会社 京都ホテル、株式会社 カトープレジャーグループ、株式会社バルフロー、株式会社 近鉄・都ホテルズ ウェスティン都ホテル京都、The Secret Home(ザ シークレットホーム)、マナーハウス写風館、株式会社グレースフジミ、株式会社ジーユー、株式会社ザ・フォウルビ(ジェイエステディック)			
(就職指導内容) キャリアサポート室は、学生の皆さんのこれらの支援を進めるための中心的な役割を担っています。学生の皆さんが、最適な就職ができるように個別相談、各種情報の提供、会社説明会やガイダンス・セミナーを行っています。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家検定ブライダルコーディネイト3級技能士資格、全米ブライダルコンサルティング協会ブライダルプランナー検定1級・2級、全米ブライダルコンサルティング協会ドレススタイリスト検定、ブライダルフラワーコーディネーター検定3級、サービス接遇検定準1級・2級 2020年度ABC協会ブライダルプランナー検定1級：受験人数18人/合格人数11人(61.1%) 2020年度ブライダルコーディネイト3級技能士資格：受験人数17人/合格人数14人(82.4%)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	1人	2.8%
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前学習教材および実力テストによる基礎学力確認および基礎学力向上支援の取り組み。クラス担任制を設けて学生生活を支援するとともに適宜面談の実施。hyper-QUアンケートの実施・分析による学生面談の実施。スクールカウンセラーの設置およびカウンセリングによる支援および個別相談窓口の設置等。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
-----	-----	-------------	-----	------------

美容科	150,000 円	800,000 円	680,000 円	教材補助活動費（預り金初年度）： ¥460,000、施設維持費：¥210,000、 休学中在籍料：¥10,000
ビューティ スペシャリ スト科	150,000 円	800,000 円	620,000 円	教材補助活動費（預り金初年度）： ¥400,000、施設維持費：¥210,000、 休学中在籍料：¥10,000
ブライダル 科	150,000 円	800,000 円	520,000 円	教材補助活動費（預り金初年度）： ¥300,000、施設維持費：¥210,000、 休学中在籍料：¥10,000
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度自己点検・自己評価 WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/f90ec6c79d8799ec41bf426af49feb1f.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 専修学校における学校評価ガイドラインの主なポイント 〈目的〉 ○学校評価を通じた組織的・継続的な教育活動等の改善。 ○生徒・卒業生、関係業界等の地域のステークホルダーとの連携協力による特色ある専修学校づくり推進。 学校法人京都中央学院は、設置する専門学校各校のより実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、各校の自己点検評価の結果を評価することを目的とした学校関係者評価委員会を設置。学校関係者評価委員会は、各校で行われた教育活動及び学校運営の状況についての自己点検評価の結果を踏まえた学校評価を行い、その結果を校長に報告する。 〈自己点検評価項目〉 ・教育理念、目標 ・学校運営 ・教育活動 ・学修成果 ・学生支援 ・教育環境 ・学生の受入れ募集 ・財務 ・法令等の遵守 ・社会貢献、地域貢献 ・国際交流 ※学校関係者評価委員会を構成する委員は3名以上とし、学校法人京都中央学院各校の教職員以外の者で次に掲げる者のうちから、各校校長もしくは担当理事が委嘱する。 (1) 保護者 (2) 学校法人京都中央学院各校卒業生 (3) 地域住民 (4) 地元企業関係者 (5) 高等学校関係者

(6) その他教育に関する有識者 ※学校法人京都中央学院 学校関係者評価委員会規程		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ガモウ関西	令和3年4月1日～令和5年3月31日	その他教育に関する有識者
滋賀県美容業生活衛生同業組合	令和3年4月1日～令和5年3月31日	その他教育に関する有識者
資生堂プロフェッショナル株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日	その他教育に関する有識者
株式会社ロイヤルホテル	令和3年4月1日～令和5年3月31日	地元企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度学校関係者評価委員会報告 WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/142894a2e9dc90184ab29222b5ca1b06.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ WEB アドレス https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/ 情報公開ページ WEB アドレス： https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/disclosure/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	Y I C 京都ビューティ専門学校
設置者名	学校法人京都中央学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		34人	33人	37人
内	第Ⅰ区分	25人	22人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	

	第Ⅲ区分	一人	一人	
	家計急変による 支援対象者（年間）			0人
	合計（年間）			39人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

- (2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。